

「念仏の救い」

だいぶ肌寒く感じるようになり、早いもので今年最後の妙蓮寺だよりになります。

さて、浄土真宗のお寺で一番大切な行事は、親鸞聖人のご命日をご縁としておこなう報恩講（ほうおんこう）であります。拙寺では12月12日に予定しておりますがコロナ感染者は減ったとはいえまだ侮れないところもありますので、誠に残念ながらYouTube法要とさせていただきます。そこで今回の寺報はその親鸞聖人のお言葉の中でも大変重要な意味を持つ御文を紹介します。

親鸞聖人がお書きになった『教行信証(信巻)』の中に《願成就一実円満の真教、真宗これなり》というお言葉がございます。これは《浄土真宗の救いとは、阿弥陀仏が修行中の法蔵菩薩であった時、一切衆生を平等に自分の浄土に救い摂りたいという願い（本願）をたて、はかり知れないご苦勞の末願いどおりに成就し、仏（阿弥陀仏）＝“真実円満のはたらき”となり、いつでもどこでもすべての人々に「安心せよ、我にまかせよ、死んで終わりではない世界・本当に清らかな浄土、に必ず生まれさせて見せる（浄土往生）ぞ」と“南無阿弥陀仏”の御名（尊号・名号）とともに生きてくださっているのです。》という意味です。

ここでちょっと話が変わるようですが、仏教には《生老病死》という大切な言葉があります。これは《生まれる・歳をとる・病気になる・死ぬ、ということがすべて思いどおりにならない苦しみでありその苦しみを超えて行くことこそが仏道の目的である》という意味です。別の表現で《生死（シヨウジ）を超える》とも言います。しかし現実の私たちは、この生老病死と正面から向き合うどころかできるだけ目をそらし、より良く快適な人生を《生きる》ことに徹することを目的としており、時代が進むごとに仏教の教えから離れた考えになっているようです。しかし、昨年から世界を襲ったコロナ禍は人々に大変な苦痛と損害を与えましたが、皮肉なことにその影響が仏教の教えである生老病死の苦悩の真実を直視させる結果となったことには深く考えさせられました。

さて、親鸞聖人が9歳から歩まれた仏道とはまさしく《生死を超える道》でありました。様々な迷いの末29歳で法然聖人の《南無阿弥陀仏一つで生死を超えてゆける》という教えに出遇われます。このみ教えはさらに深まり、後に多くの人々にそのお救いの意味をお示しく下さいました。その教えの大切なことは《凡夫（ぼんぶ）》という言葉にあります。意味は《生老病死の苦悩を解決するすべがないもの》ということですが凡夫には《死ということをもまったく解決できない》という特徴があります。親鸞聖人はその解決できないもののためにいつでも阿弥陀様がおられるのですと教えて下さいました。先にご紹介しました《願成就一実円満の真教、真宗これなり》というお言葉を今一度一緒に味わわせていただき、感謝の気持ちで報恩講をお参りいたしましょう。

合掌

11月と12月の行事予定

■早朝ゴミ拾いと勤行 ～ゴミ拾いのみ、勤行のみの参加もOK！

11月14日（日）・12月12日（日） ※毎月第2日曜日開催

午前7時45分～ 妙蓮寺前集合、ゴミ分別作業
※各自ゴミを拾いながらお集まりください

8時～ 勤行『正信偈・和讃』



■ 「写経・体操・法話」のつどい ～心と体をリフレッシュ～

写経20分、体操10分、法話20分ぐらいです。

① 11月18日(木) 14時～

② 12月16日(木) 14時～

場所 ※タワーホール船堀 3階応接室

場所 ※タワーホール船堀 306会議室

(応接室は奥の方にあります。)

江戸川区船堀4-1-1 都営新宿線「船堀駅」徒歩1分

参加費 200円 / 妙蓮寺クラブ会員・無料 (別途初回のみ写経テキスト代別途かかります)

■ 宗祖報恩講法要(親鸞聖人ご命日) ～YouTubeにて限定公開

令和3年12月12日(日) 午後14時00分～

※13時50分～入れます。

14時～

住職挨拶

14時05分頃～

法要『正信偈・和讃』

～約5分休憩～

14時40分頃～15時00分

20分法話〔友岡晃二/妙蓮寺住職〕

※親鸞聖人のご生涯とその教えをお話いたします。

15時頃

終了予定



YouTube 参拝は、こちらからご入場下さい。→

※恐縮ですが報恩講懇志(お布施)も承ります。下記ゆうちょ銀行口座でも受け付けております。

●ぼうもり日記

※ぼうもり・・・住職と共に寺を支える者。浄土真宗のことば。

今年も報恩講の季節がやって参りました。恩を感じるということのはなかなか難しいもので、していただいたことの大きさに気づかなければ、有難いと思う気持ちも生まれません。いずれ死んでゆく私がなぜ生まれたのか。誰かの役に立つため、という答えは良くききます。しかし誰

かの役に立つことの裏側では誰かをなにかを傷つけている、それが私という存在です。大きな矛盾・迷いそのものの私の《いのち》の解決は阿弥陀様にすべてお任せして、今を精一杯生きていきたいと思えます。有難うございます。なんまんだぶ なんまんだぶ、、合掌

●この度新しいパンフレットができました！ どうぞお手に取ってご覧ください。

妙蓮寺クラブ(ご縁を大切にするつどい)のご入会も随時受け付けております。入退会自由です。新たにご入会特典として、新中川治療院・施術料500円割引×3回分チケットもご用意しました。かなりお得なチケットですので会員皆様にご活用いただけますと幸いです。

入会費 年間5,000円 / 振込先 ゆうちょ銀行 / 口座名 妙蓮寺門信徒会

口座記号番号 00130-0-588019



